

吾も紅の4月は、花盛り。

先月末から続く桜を求める旅は岩堰での花見でしめくられました。

赤橋の前で写真を撮るお嫁さんを見て、みなさんほんわかした気持ちになり花見酒も進んだのでした。

桜が終わると、サツキの季節に。

一気に開花する白や紫、濃紅の花々。

退院したJさんも一緒に、サツキを眺めに散歩します。

「この商店で、いつも子どもにみかんを送ってやっていた」懐かしそうに語るJさん。

県外の大学に行った息子や娘に、郷里のみかんを送る親心。

優しいJさんらしいエピソードです。「奥さんはいるかな」というJさんの言葉で声をかけると出てきてくれた商店の奥さん。JさんやSさん（ともに近所の顔見知り）と話しているうちに、「あれ、クボさん?!」なんと、Yさん（旧姓クボさん）と同郷だったことが判明。

「妹さんもお元気?」など話がまたまた弾みます。商店でお菓子を買って、お花をもらって楽しく帰った一同でした。もらったお花は華道の免状を持つKさんが活けてくれます。

またある日は、土曜日のランチをパン屋さんでとることにしました。

いろとりどりのパンに目がくらみ、

皆さんつつい取りすぎます。

「こんなに食べれんけん、わけようや!」

「あら、そっちのほうが美味しそうね」

みんなで食べ比べ、食べきれないぶんはお持ち帰り。



次の日曜は奥道後のたけのこ祭りへ。湯山地区は、たけのこの名産地。

地域行事としてお祭りが行われます。

「このあと、時間があれば映画を見て、うどんでも食べて帰ろうや!」

張り切っていたSさんでしたが、ゆでたけのこの試食（さっとゆがいただけの筍に酢味噌がかかっている）を一口食べて激しくむせこみ、意気消沈してしまったのでした…。

ここでも顔の広いYさんは知人に声をかけられ、だれやらわからんながらに話をあわせて

「また来てね」と別れました。社交性ばつぐんです。

さらに、翌週の日曜はクールスモールで行われたフラダンスの講演に、職員のOさんが出るということでみんなで応援に。

また、史跡庭園である庚申庵に藤を見に行き、存分に花を楽しみました。



4月最後の外出はレインボーハイランドのバーベキュー。

毎年5月に計画していたのですが、今年は例年より暑いのと、5月は混むことから少し早めました。

ボランティアの R さんが今年も参加してくださって、大きなクーラーボックスを調達してくれ、高級肉の差し入れも…。当日は先に行って準備してくださり、ひたすら焼く係となって皆さんを楽しませていただきました。

普段食の細い Y さんや J さんが次々に箸を伸ばし、(歯がないのに関わらず)「肉をくれ」と果敢に肉を食いちぎっているのに感嘆。

また、いつも文句を言ってはおかずを残す A さん、気がつくといつの間にか肉を焼く R さんの隣に移動しており、焼く側からすかさず奪い取って食べていました。手押し車で弱々しそうに歩いているくせに、こういう時はちゃっかりしています。

みなさんの「生きる力」に驚くばかりの4月、新緑の頃の出来事でした。

(永和里佳子)

